

奈良国立博物館

第60回正倉院展記念

音燈華



◆2008年11月1日[土]・2日[日]・3日[月・祝]

◆奈良国立博物館新館前 **無料**

主催：奈良国立博物館・読売新聞大阪本社

協力：奈良経営振興倶楽部・日本香堂

◆11月1日[土] 19:00～

Jusqu'à Grand-père
mama!milk

◆11月2日[日] 19:00～

Jusqu'à Grand-père
あらいなおこ
井川 由美子

◆11月3日[月・祝]19:00～

Jusqu'à Grand-père
月下美人

空間演出：武田 高明

第60回正倉院展 10月25日(土)～11月10日(月)

奈良国立博物館
(奈良市登大路町60 TEL:0742-22-7771)

【開館時間】午前9時～午後6時、金・土・日曜日・祝日は午後7時まで(入館は閉館30分前まで) ※会期中断休

【料金】一般1,000(900)円、高大生700(600)円、小中生400(300)円 ※()内は前売及び20人以上の団体料金。前売りは9月下旬に開始予定。

【主催】奈良国立博物館 【協賛】NTT西日本、近畿日本鉄道、JF東海、タイケン工業、大和ハウス工業、帝塚山学園・帝塚山大学、日本生命

【特別協力】読売新聞社 【協力】NHK奈良放送局、奈良テレビ放送、日本香堂、仏教美術協会

音燈華 ◆2008年11月1日[土]・2日[日]・3日[月・祝]

◆奈良国立博物館新館前 無料

赤膚焼の陶芸家である武田さんの作品は、茶道具から日々使いの器まで初使いでのずっと昔からあったように手や場になじんでしまいます。今、各方面から注目を集めるのが独立した頃からつくり続ける燈火器です。精緻な文様を彫り出した陶器の灯りはさながら夢。ろうそくの揺らめきに繊細な影が寄り添います。ひとつだけでも充分心惹かれるのですが、広い空間に何百とこの灯りが並ぶ様はもう、ため息をつくばかり。

世界遺産に登録された年の吉野山、東京国立博物館、奈良国立博物館など元来それだけで力のある空間に灯りの意匠を尽くすことができるのは、武田さんならではの。近年、「音燈華」と名付けて音楽をも含めた空間を演出、大成功との評判を呼んでいます。正倉院展ではどんな光景が繰り広げられることでしょう。

フリーライター 中島 史子

(奈良国立博物館評議委員・独立行政法人国立文化財機構運営委員)

武田 高明 (空間・音楽 演出)

Profile

2004年	世界遺産登録吉野記念イベント「邂逅」
2005～8年	吉野「鬼火の祭典」
2005年	東京国立博物館 法隆寺宝物館
2006年	東京国立博物館 音燈華
2007/8年	奈良国立博物館 燈火のあるカフェテラスLIVE
2007年	南禅寺何有荘
他	

Profile

Jusqu'à Grand-père (ジュスカ・グランペール)

<http://jusqua.com/>



ギター「高井 博章」とバイオリン「ひろせ まこと」による京都発インストゥルメンタル・デュオ。共に白髪になるまで続けて行きたいという気持ちをこめてフランス語でジュスカ・グランペール(おじいさんになるまで)と命名。

1999年の活動開始以来、ジャズ、フュージョン、ラテン、タンゴ、クラシックなど幅広い要素を吸収した「ジュスカ・サウンド」はジャンル越えて独自の世界観を創り出している。あるときは美しく、またある時は情熱的に10本の弦(バイオリン+ギター)が奏でる絶妙なアンサンブルは癒しの空間へと誘います。

2007年、葉加瀬太郎が音楽総監督を務めるHATS UNLIMITEDよりアルバム「mineral life」でメジャーデビュー。

2008年、奈良・吉野の桜が危機にあるのを知り「日本の桜を守ろう」と各地で呼びかけている。10月25日奈良・吉野で開催が決定したチャリティーコンサート「さくらAID」にも、いち早く参加を表明。今秋NEWアルバムのリリース予定している。

mamamilk (ママ・ミルク)

<http://www.mamamilk.net/> <http://www.myspace.com/>



生駒祐子(アコーディオン)と、清水恒輔(コントラバス)による室内楽ユニット。

これまでに「Gala de Caras」をはじめ3枚のオリジナルアルバム、コラボレーションアルバム6枚を発表。

世界各地の様々な空間—古い劇場、美術館、石畳の広場、客船、寺院、カフェなど、ある種の質感を湛えた場所での演奏を重ねている。聴くものの中に様々な世界を描き出す自由な音楽と、それぞれの空間の響きの中で丁寧に音を紡いでいく、たおやかなパフォーマンスは各地で絶賛され、映画、舞台等、様々なジャンルのクリエイターとの共同制作も多い。

近年、生駒のソロアルバム「esquise」(2007)、パフォーマンス「esquise, esquise」(2007 graf, 原美術館他)、カバーアルバム「Moisture with Music Box (手廻しオルゴールで聴くエリック・サティ)」(2008)の発表、金沢21世紀美術館「タレルの都屋」や、ひっそりと佇む廃墟などにおける「とある空間のための作曲と演奏」をへながら、彼らの豊かな世界はさらに深まり、聴くものを惹きつけている。

2008年8月には、ゲストにGak Sato(テルミン)、井登友一(トロンボーン)、トウヤマタケオ(ピアノ)、栗原務(ドラム)ら、極上の音楽家を迎えて録音された、待望の新作アルバム「Fragrance of Notes」を発表

あらいなおこ



幼少の頃より父親にハーモニカを習う。ハーモニカ四重奏「京都ハーモニカカルテット」のメンバーとして、ワールドハーモニカチャンピオンシップスにて二連続優勝を果たす。(1993年第4回ドイツ・トロシゲン、1995年第5回日本・横浜)

様々なジャンルのミュージシャンと共演し、自身のユニットで、全国各地にてのコンサート・ライブ活動を中心に、ジャズオーケストラやマンドリンオーケストラのソリスト、CD・CM・演劇等でのレコーディング参加等幅広く活動中。2006年11月、CD「開演」を発売。

井川 由美子



幼少の頃よりオルガンを始め、ブルー・ロック・ポップス等のバンドの鍵盤奏者として、関西のライブハウスを中心に活躍。

90年代前半頃より、平行してアコーディオンを始め、演劇音楽などにも携わる。

現在は主にアコーディオン奏者として、更に広いジャンルのミュージシャンと共演し、レコーディングや、全国各地でのコンサート・ライブ活動を精力的に展開している。

月下美人



遊覧在住女性デュオ。g.voil山本かなこ、b.cho石田珠紀。

関西を中心に活動、2006年からは韓国での海外ライブもスタートし、ゆっくりと活動の場を広げつつあります。2009年にはカンボジアでのライブも企画中。

「アコースティックギターとフレットレスベースというシンプルな形態ですが、曲の中に確かに存在するリズムと風景を感じて聴いて貰えれば幸いです。」

(月下美人g.voil山本かなこ談) ライブアルバム「live at Nega-Poji」発売中。

主催:奈良国立博物館・読売新聞大阪本社 協力:奈良経営振興倶楽部・日本香堂

問い合わせ先 TEL:0742-22-7771 (奈良国立博物館)